

---

# 赤い糸、つなぎます

畠 篤志

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

赤い糸、つなぎます

### 【Nコード】

N4477C

### 【作者名】

畠 番志

### 【あらすじ】

20XX年、科学の進歩はついに人間の「相性」も研究し尽くした。運命の赤い糸と信じられたことも、実は操作可能なのか？良太の運命の人とは？

「お兄さん、これは確實ですぜ」  
そんな言葉だつたのか、ともかく、街頭で小さなカードを受け取ると良太は、誰かが見てなかつたか、と辺りを見回した。家に帰り着くとすぐにネットにつないだ。クレジットで支払い、まわりくどいセキュリティをぐぐりぬけ、やつとお田端のサイトだ。

「　あなたの赤い糸の先には誰が？　さあ、探ししましょう、つなぎましょう」

科学の進歩つてやつは、本当にすごい。前世紀の終わりにクローリン羊が現れ、「人間でもできたらおもしろいね」、なんて言つてたら、すぐに世界中で怪しげな人間クローリンの計画が始まつた。20XX年になつて、猫の相性の実験が報告されたら、「人間でもできるよね」なんて冗談が冗談じやなくなりそうだ……

息をひそめて見つめると、画面に人々の相関図のようなものが現れた。その真ん中にいるのは、良太だつた。良太から、細いのやら太いのやら赤い糸が伸びて、周りの女性たちにつながつている。

「うつ、この子は…… 残念、好みじゃないぜ」

一番太い赤い糸の先には、ちょっとぼっちやりした下ぶくれの顔が映つていた。良太は顔をしかめ、「消去しますか？」と点滅するボタンを押すと、画面がさーっと替わり、金額表が現れた。「完全」から「できる限り接触を避ける」まである。「完全」を選ぶと、べらぼうな金を払うことになる。良太は携帯を取り上げた。

「御用でしょうか？」

機械的な声がする。

「今、見てんだけど…… ホントにこれが俺の赤い糸？ 放つておいたらどうなるんだ？」

「何もなさないと、もつとも太い糸の方と結ばれます」  
機械はていねいに良太の様々な質問に対応した。

「……わかったよ。ありがとうな」

「いえ、お役に立てて幸いです」

良太は携帯を切ると、画面を見つめた。良太の好みの彼女とは、一番細い糸で結ばれている。その子と結ばれるためには、他の太い糸を全部切つて、その子の糸をとことん太くしなければいけない。見積もりによると、良太が銀行強盗でもしないとできない金額だった。

良太は、部屋の窓から暮れ行く夕日を眺めた。さわやかな夕暮れの風が、良太を少し落ち着かせた。良太は携帯をもてあそびながらつぶやいた。

下ぶくれか……。それが俺の運命つてものならば

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4477c/>

---

赤い糸、つなぎます

2011年1月16日06時06分発行